奥州広報おうしゅう
2013 Vol.88 6
□発行日／6月13日　□発行／奥州市　〒023－8501 奥州市水沢区大手町1－1　□電話／0197－24－2111　□編集／総務企画部政策企画課　□印刷／鈴木印刷㈱

Oshu Heritage

奥州遺産 No.33

～ときを越え受け継がれるもの～

藤里の珪化木

＝江刺区藤里字石名田＝

江刺区藤里幕内地区南方の愛宕山。その愛宕山の山頂付近に、愛宕神社が社を構える。その本殿西裏手の、伊手川に面した急斜面に珪化木がある。

植物体に珪酸成分が染み込み、細胞内に沈着・結晶化して幹の形が残った珪化木は、1500万年前に形成された稲瀬層に埋もれている。樹種は、新第三紀に日本各地で大森林が形成されていたセコイアメスギ。直立した樹幹は貴重なものとして保存され、昭和38年、天然記念物として県の指定を受けた。

長径1・35㍍、短径1・19㍍あり、見える部分の長さが3・5㍍ほどの珪化木。その様子から、倍以上の長さが埋没すると推測され、全長は10㍍を超えるといわれる。

深緑の眩いこの季節、珪化木には柔らかな木漏れ日が降りそそぐ。静寂の中に、荘厳な太古の世界へと導かれる。

1急斜面にあるため金網で防護されている「珪化木」　2閑寂の中に悠然と構える「愛宕神社」　3珪化木のある斜面のさらに奥、古くは愛宕神社の本殿とされていた「奥ノ院」

広告

VEGETABLE OIL INK
※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約 25 円です。】